

つながるスイッチ!! 久留米市社会福祉協議会



vol.20

支え合い推進会議
—その⑮—

「長門石校区」の取り組み

支え合い推進会議の取り組みを紹介していくシリーズ第15弾。今回は「長門石校区」をご紹介します。

長門石校区まちづくり振興会
会長 清水 啓介さん

長門石校区まちづくり振興会
事務局長 高野 裕樹さん

長門石地区民生委員
児童委員協議会

民生委員・児童委員
石川 由美子さん

「移動販売」 取り組みスタート

長門石校区は、令和3年7月に最初の支え合い推進会議を行い、約1年かけて、何か校区でできることはないかを話し合いました。令和4年9月に、全世帯を対象に困りごとアンケートを実施。校区全体での困りごとの上位は
1、庭掃除・草取り 2、買い物
3、ゴミ出しでした。一方で、高齢化率が高い長門石団地などの結果を見ると
1、買い物 2、庭掃除・草取り 3、ゴミ出しと、結果が変わることが分かりました。

長門石校区にはスーパーのようなお店が少なく、車やバスを使って買い物に

行くしかありません。アンケートの結果を見て、納得だったと話す皆さん。

民生委員として団地をまわっている石川さんも、「団地のまわりにお店がないので、買い物がいっしょに困っている」と普段から住人の皆さんの声を聞いていたと話されます。「移動販売は、他の校区ですでに取り組まれていたので、参考にさせてもらいながらスタートすることにしました」と清水さん。会議を重ね、令和5年9月から「買い物支援」の取り組みがスタートしました。

「移動販売」を はじめてみて

移動販売は毎週金曜日、13時45分「長門石団地第一集会所」、14時15分「長門石校区コミュニティセンター」を、まわっています。「最初はもう1か所、来てもらっていました。利用者が少なかったのですが、利用者が、新しい場所も探しています」と高野さん。取り組みをスタートさせてまだ数か月でのスピーディーな判断。「移動販売の事業者さんは、わざわざ長門石校区に来ていただいています。きちんと、業者さんにも売り上げをあげていただきたい。ウインウインでないと長く続きません。これからは現地調査をしつかり行って、今後の展開を考えていきたいです」と清水さんは冷静に話されます。

移動販売の運営中!

はじめまして!

移動スーパー
とくし丸
TOKUSHI MARU

お刺身、寿司、惣菜、お肉、野菜・果物、パン・お菓子、日用品・軽トラにたっぷり300品目見て買えて、注文もできる——とっても便利な移動スーパーです!

お家の前で、見て買えます

このエリアは **毎週 金曜日 停車予定!!**

この車が移動スーパー「とくし丸」

とくし丸 移動販売

12月から曜日と場所、時間が変わります。

●販売場所・時間

毎週 金曜日	11月3日、10日、17日、24日	12月1日、8日、15日、22日、29日
①「団地第一集会所」	13時45分～	
②「長門石校区コミュニティセンター」		14時15分～

○お昼食の加入に際しては、ご用意できません。
○飲み物や軽食の提供はできません。ご自分で購入をお願いします。
○希望する商品がない場合は、予約が必要です。
○天候等により販売開始時刻が前後する場合があります。
○お昼や大雨の時は中止となります。

主催：長門石校区支え合い推進会議

そのような中、団地に来る移動販売は毎回10人前後(多い時は20人近く)利用者があり大好評!「買い物に困っている方が多いと事前に把握していたので、移動販売のチラシを団地の掲示板に貼って、しっかりと告知を行いました」と高野さん。「便利になったと、団地にお住まいの皆さんはとても喜ばれています。ひとり暮らしの方のコミュニケーションの場所にもなっているようで、友達が来るからと、販売車が来る時間の30分前から来て、おしゃべりを楽しんでいる方達もいます」と嬉しそうに石川さんは話されます。移動販売が、新たな「支え合いの場」になっているようです。

● 清水さん
先日、「セーフコミュニティ」の会議がありました。久留米市一丸となって安全・安心な地域づくりをしようというのですが、子どもたちの見守りや高齢者のサポート、防災など、長門石校区は昔から独自で取り組んできました。自分たちが行なってきたことが間違っていたらと改めて感じました。これから様々な分野の取り組みを、いかに充実させていけるかが課題です。人材不足・高齢化などたくさんさんの問題を抱えています。これから

活動して思うこと、 これからのこと



● 高野さん
移動販売の取り組みには、手応えを感じています。模索しながらのスタートでしたが、取り組んでよかったと思います。今後は、販売車の拠点をさらに増やしていきたいです。私自身、長門石が地元ではありません。そのため、少し俯瞰して、違う視点から校区を見るのができます。長門石校区は5つの自治会で成り立っていて、他の校区に比べてコンパクトでまとまっているのが良さだと思っています。会議も全員が積極的に発言し、

長門石校区に住んでいる皆さんが過ごしやすいように、安全・安心なまちづくりに取り組んでいきたいです。



まとめるのが早い。この校区の良さを活かして、今後も校区全体を元気にしていきたいです。

● 石川さん

民生委員という役をすることで、校区の動きやイベントなども知ることができたり、たくさんの人に出会えたことがとても良かったです。自治会に入ること、地域の取り組みに参加することが楽しくて有意義なことだと、今後はまわりに伝えていきたいです。私自身が体現して楽しみたいと思っています。

取材を終えて

長門石校区は、支え合い推進会議の開催は遅かったが、それは、すでにご自身たち独自で、校区の取り組みを一生懸命にやってきたからだと自信を持ってお話しされていました。「やってみらんとわからない！ やってみよう！」と大きな器でリーダーシップを取る清水さん、広い視野で校区を見ながら的確に進む高野さん、本人自身が楽しみながらお二人の活動を支える石川さん。3人の熱い校区愛を感じた取材でした。



高野 裕樹さん 清水 啓介さん 石川 由美子さん

サッカー筋の清水さん。久留米市サッカー協会の会長を20年務められました。野球一筋の高野さん。高校野球の監督も務め、甲子園にまで行ったそう。料理作りが得意な石川さんは、たくさん作って友達に振る舞うのが楽しいそう。校区の行事でも豚汁やカレーを振る舞っています。そしてバスで活躍中のお孫さんを遠方まで応援に行かれているそうで、偶然にも「スポーツ」という3人の共通点が見つかり、スポーツ話で盛り上がりしました。

- 困りごととアンケートを実施し、他校区を参考に「移動販売」に取り組む
- 業者とのウィンウィンな関係を続けるため、スピーディーに状況判断
- 普段からニーズを聞き取っていた長門石団地では、移動販売が特に好評
- 移動販売は買い物支援だけでなく、新たなコミュニケーションの場になっている

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34

TEL: 0942-34-3035

FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net

HP: <http://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会

検索

webサイト

[note——つくる、つながる、とどける。]で

「つながるスイッチ!!」を検索してください!

#久留米市 #社協 #地域 #福祉 #地域福祉 #支え合い
#移動販売 #買い物



つながるスイッチ!!は
HPでも
webマガジンでも
掲載中